

東池袋小児科醫院 院内トリアージ実施基準

当クリニックにおいて、来院された患者様の症状や重症度を事前に評価し、緊急性の高い患者様が適切な診察や治療を受けられるように、下記の要領で院内トリアージを実施致します。

算定対象時間は、平日18時以降、土曜12時以降、日曜祝祭日終日と致します。

院内トリアージの流れ

- 1) 来院後、受付時に症状や受診理由を確認します。
- 2) 看護師や医師が患者様のバイタル等、全身状態の確認を行います。
- 3) 下記のトリアージ分類表に基づいて緊急度を判定します。トリアージは待ち時間に応じて再評価致します。

トリアージ分類表（JTASに準拠）

緊急度判定レベル	症状の特徴や具体例	再評価の目安
蘇生(レベル1)	生命が危ぶまれ、直ちに対応が必要な状態。 しているけいれん、高度な意識障害や呼吸障害、ショック、重症外傷 等	持続 治療の継続
緊急（レベル2）	生命または四肢・臓器が危篤状態に陥る危険性が高く、早急に初期対応が必要な状態。 中等度の呼吸障害 ($SpO_2 < 92\%$) や意識障害、重度の脱水症、激しい頭痛や腹痛 等	15分ごと
準緊急（レベル3）	比較的安定しているが、長時間待つことが出来ない状態。 頓挫したけいれん（意識清明）、 $SpO_2 92 - 94\%$ 、変形のある四肢外傷、発熱（具合が悪そう）等	30分ごと
低緊急（レベル4）	緊急性が低く、診察までに1~2時間程度待てる状態。 軽度の喘息 ($SpO_2 > 94\%$) 、発熱（具合が良さそう）、縫合が必要な外傷（止血済み）等	1時間ごと
非緊急（レベル5）	緊急性や病態の増悪は考えられず、診察まで長時間待てる状態。 包帯交換、縫合の必要のない傷、処方の継続希望 等	2時間ごと

来院後の主な流れ

「来院」 ⇒ 「受付」 ⇒ 緊急度判定（院内トリアージ） ⇒ 診察待機 ⇒ 診察・処置等 ⇒ 帰宅・他病院へ紹介・入院依頼
※発熱等の症状で来院された場合は、院内トリアージの際に感染症の迅速検査を行わせていただくことがあります。
※院内トリアージの実施基準は、必要に応じて随時改定・更新致します。